

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第32回

森の彫刻家 上床利秋

バイオトイレをつくる 1

日本のトイレ事情は素晴らしい。公共トイレは世界一清潔で使いやすいベルだと思っ。

シャワートイレの開発、普及のおかげで人々の生活は生涯清潔で健康を享受できるようになったのだから、現代に生まれて本当に良かったと思っ。これも水道が各家庭に普及しているからその賜であらう。

ところが、残念なことに、もともと杉アトリエ周辺には水道がない。電気はあるので、冷蔵庫を利用して冷えたミネラルウォーターを飲むことはできるし、制作用には雨水を溜めることで全く支障はないのである。トイレは10年以上前に掘った穴の上に自作で建てた丸太とベニヤ板とビニールテント屋根の小屋。だが、段々こちらも古びてきた。できればやはり、トイレはもっと清潔な方がいい。

どうしても水道を引いてくるとすれば、深さ1.5mに水道管を埋めなければならぬらしく、距離も500mはあるので、見積もりでは約500万円相当の金額が必要になるといっ。

水洗トイレに替えるには、その費用の上に、更に公衆水洗トイレ建設170万円のコストがかかるという事が分かってきた。(霧島市の一流建設会社談)ちよっとコストがかかりすぎるようだ。

雨水を利用して水洗トイレという

最後の方法もあるが、それは、いま考えている手作りバイオトイレの評判が芳しくない時に建設することにした。

バイオトイレとは地中深くに穴を掘り、用を足した後におがくずを撒くことで大便が酵素によって自然分解され、土になることで匂いを消す方法である。屋久島や中国の自然遺産にあるトイレはこのバイオトイレの原理を利用してつくられている。

我が杉アトリエにはこれが向いていると考えていたので、数年前にアトリエ内の杉の木を間伐した時ついでにコンボで深さ1.5m程度の穴を掘つてもうっていた場所に自分で据えることに決めた。長い年月利用するには、そして匂いがしなくなるためにはこの穴は深ければ深いほど良い。私は頑張つて梯子で穴の下に降り、スコップでコンボツと深さ3mまで土を掘り進めてみた。

ここまですると、土砂崩壊の危険を徐々に感じ始めるものである。先日震度5弱の地震があったことで、もつこの深さで良しという事にした。この穴の周辺にはブロックを置い



厚さ4mmの鉄板に穴をあけてもらう。



むこう20年間は使える深さにしようとして最後はスコップで慎重に掘り進めた。見上げると、崩れてきそうで恐怖を感じた。

てコンクリートで固めた。さらに工事用アルミ製足場を3枚渡し、その上に2枚のプラスチック製パレットを置くことで床面の安定と安全を確保してみた。湿気を心配したので、木材は全く使わなかった。穴をこれに分厚い鉄の板をかぶせて、穴をあけることで、基本的には便槽が出来る上がることになる。

便座は和式トイレを洋式トイレにリフォームする便座を利用し、プラスチックのミカン箱(コンテナ)で座の高さを調節することにした。ズレ止めには鉄板にかけた穴の四方にL字金具を鉄溶接でつけてもらった。伊藤鉄工の社長さんたちが全面的に協力してくださつてほぼ完璧なイメージ通りの仕事が出来た。

私の今回のトイレづくりの様子を見ていた友人達が「彫刻家がこんなことに熱心になるとは思わなかったよ」「これはもはや、作品ですね」と感想をラインに述べてくれた。

私は簡易的なトイレをつくるという事は、還暦を過ぎた自分にとって人生を簡易彫刻家として己を決定つけてしまつような気がして、本物の作家であるためにはエッセではない「本物のトイレ」をつくりたかったのである。

日展会員 第一幼児教育短期大学 教授

この森のアトリエで彫刻を共に作ってみませんか

ホームページ刷新しました。
<https://douzu.jp/>
上床利秋 検索

このページのバックナンバーも読むことができます。

レモン画材絵画教室 ご案内

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
②13:30～
- 月1回第2木曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室

★ingミニセミナー〈POP文字・筆文字・絵手紙など〉チラシ等で随時ご案内致します。

お申し込みは TEL 0995-45-1015 国分進行堂・レモン画材まで